				平成2	4	∓行政 <sup></sup>	事業	レビューシ	·  -	()	<b>享生</b>	労働	省)
事	業名	革新的医薬品	品•医療機器 業	相談承認申請支	援事	担当部	局庁	医	薬食品局		作	成責任	者
	開始・ ·定)年度		平成25年	年度		担当記	果室	審	査管理課	Ī	課長	赤川	治郎
会計	<b> 区分</b>		一般会	計		施策	名	<b>I</b> V − 1 − 7	新医薬品・日	医療機器を	迅速	に提供	する
(具作	<b>処法令</b> 本的な も記載)		-			関係する 通知		「ライフ成長戦略 医療イノベーショ	平成24年7月31 :」 :ン5か年戦略(平 ・・ベンチャー企業	成24年6	月6日:	策定)	
(目指	<b>の目的</b> 針姿を 。3行程			小・ベンチャー企業 所的な医薬品・医療					<b>れを防ぐため</b> に	二、薬事承	認のホ	目談及で	が申請
(5行	<b>大概要</b>	一定条件の中小・ベンチャー企業等が開発を行う、次の要件を満たす新医薬品・医療機器に係る相談・申請手数料を9割軽減する。 【対象企業等】資本金・出資総額3億円以下、従業員数300人以下(中小企業基本法準拠) 【要件】(1)オーファンドラッグ・オーファンデバイス、(2)世界初上市となる革新的な医薬品・医療機器、(3)「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」、「医療ニーズの高い医療機器等の早期導入に関する検討会」(厚生労働省医薬食品局長私的検討会)において選定された品目											
実施	方法	□直接実施	口委託	ť·請負 ■	補助		負担	口交付	口貸付	□その	の他		
				21年度	22年度			23年度	24年	度	25年度要求		更求
		ア	切予算								251		
<b>予</b> 僧	[額・	$\widehat{\sigma}$	E予算										
執	行額	状 繰	越し等										
(早辺・	百万円)	āT										251	
		執行	額										
		執行率	(%)										
					単位	21年度	22年度	23年)	度		標値 年度)		
成果	具実績	当該事業にて 審査手数料の 効果を期間が	その	成果実績	-	-	-	-			-		
		あるため、定 ある。	難で	達成度	%	-	-	-					
江 彩 北	シ+亜 ひょっぐ		活動指	標			単位	21年度	22年度	23年)	度	24年度	活動見込
活動	<b>信標及び │</b> 助実績 │					活動実績		_	-	_			_
(アワ)	トプット)	相談・申請手	数料軽減件数	<b>数</b>		(当初見込み)	件		( - )	( _	١	(	_ )
						377			( - )	( –	)	(	
	当たり スト		-			算出根拠			-				
	費	目	24年度当初予	5算 25年度要求	ξ			主	な増減理由				
<b>成</b>	医薬品副作用等被	害救済事務費等補助金	_	251		B	本再生	三戦略にかかる特	別重点要求とし	て新規要	求する	ため	
2													
2													
5													
度予													
年度予算内													
訳		計	_	251									

_		事業所管部局による点検						
	評価	項目	評価に関する説明					
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医療イノベーションの推進、革新的医薬品等の実用化の促進に向けた取り組みは、保健医療向上の観点から優先度の高い事業である。					
・予算の状	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	産業界においてリスクマネーを投入できない、死の谷 (研究開発の成果が実用化されるまでのまでの間、開 発コストがかさみ資金不足に陥った状況)を埋めるため に、国において補助する必要がある。					
況	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-					
資金のけ	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	_					
流れ、	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	_					
費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_					
目 •	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-					
使途	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-					
	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-					
活動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	_					
実績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_					
•	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担と	_					
成果実		なっているか。	_					
実 績		※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_					
		予算監視・効率化チームの所見						
		予算監視・効率化チームの所見 本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談 な予算措置とすること。						
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談 は予算措置とすること。	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談 は予算措置とすること。	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談 は予算措置とすること。	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談 は予算措置とすること。	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					
		本事業は、革新的医薬品等の早期実用化を図るための薬事に係る相談な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	支援事業であり、優先度の高い事業であるため、適切					

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
して していまが何を している。	
行っているか	
(資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する) (単 位:百万円)	
する)(単	
位:日万円)	

		Α.			D.						
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)					
費目・使途	計		0.000	計		0.0					
においてブロッ		B.			E.						
金額が支出され	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)					
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され て記載する。 費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)											
で美情が分かる ように記載)											
	=1		0.00	=1		0.0					
	計 	<u> </u>	0.00	計		0.0					
		C. 使 途	金額(百万円)		F. 使途	金額(百万円)					
	具 口	区 返	(百万円)	具 口		(百万円)					
	計		0	計		0.0					

74.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

						平成2	4 4	年行政	事業	レビューシ	<b>-  </b>	(厚	生的	<b>労働</b> 征	<b>á</b> )
事	業名	革新的	的な医	薬品等の穿 援事		等評価法策	定支	担当部	局庁	医	薬食品局		作	成責任	者
	開始 • 5定)年度			平成2	5年度			担当記	果室	   審	査管理課	討	果長	赤川	治郎
会記	计区分			一般	会計			施策	名	<b>I</b> V − 1 − 7	新医薬品・[	医療機器を	迅速	に提供	する
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)	<del></del>	I I de la	-	-			関係する通知	等	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議 「ライフ成長戦略」 医療イノベーション5か年戦略(平成24: 「Ⅲ-1-1 研究開発の推進と重点化」 「Ⅲ-2-1-3 再生医療を迅速に実用 の強化」			年6月6日策定) 引化させるための制度・運用		
(目抄	<b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)									発時に必要な試験 に向けた取り組み		V4U17=8)、	開発	段階か	<b>ら必</b> 安
(5行	<b>業概要</b> f程度以 削添可)														
実別	<b>拖方法</b>	■直接	実施	口委	託∙請	負  ■	■補助		負担	口交付	口貸付	口その位	他		
執	<b>章額 •</b> <b>行額</b> ∶百万円)	第 補正予		執行額 執行率(%)		21年度	平及		単位	23年度	22年度		25年B 75 75		要求
成身	(1.73.47)	成果指標 当該事業については、医薬品等の審査基準の 明確化を図るものであり、その効果を期間や数 量等で計れない性質のものであるため、定量的 な成果目標を示すのが困難である。					成果実績達成度	- %		- - -	-			年度)	
		0.73431	. H IN C						単位	21年度	22年度	23年度	¥	24年度	活動見込
活動	指標及び 助実績 トプット)	活動指標 医薬品等審査迅速化事業費補助金交付課題数				活動実績 (当初見込 み)	課題	- - -	- ( - )	- ( -		(	- )		
	ご当たり Iスト			-	-			算出根拠			-				
		目		24年度当初	]予算	25年度要求	<b></b>			Ė	な増減理由				
成 2 4 2 5 年	諸謝金 職員旅費 委員等旅 医薬品審査	查等業績		- - - - -		0.6 1.2 2 0.8 750		B	本再生	:戦略にかかる特	別重点要求とし	で新規要求	_ <del>_</del>	<u></u>	
訳		計				755									

		事業所管部局による点検	<u></u>
	評価	項目	評価に関する説明
目的・-	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	革新的ながん治療薬及び再生医療製品のの実用化に 向けた取り組みは、保健医療向上の観点から優先度の 高い事業である。
予算の	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	開発評価するためのガイドラインの策定は、審査を行っ ている国の下で行う必要がある。
状況	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_
資金の	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
流れ	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
費	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
目 •	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
使 途	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-
活動実績、	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-
	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-
果実	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果		:戦略において、「医療イノベーション5か年戦略」(医薬品等の審査の迅速 盛り込まれており、本事業は当該戦略に基づくものである。	東化·質の向上·安全対策の強化など)の着実な実施を図
検 結			
検 結	ることがほ	本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	えけるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優先
検 結	ることがほ	密り込まれており、本事業は当該戦略に基づくものである。 予算監視・効率化チームの所見 本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す	えけるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優々
検 結	ることがほ	本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	えけるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優先
検 結	ることがほ	※ 予算監視・効率化チームの所見を 本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	えるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優々 既算要求における反映状況等)
検 結	ることがほ	本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	えるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優々 既算要求における反映状況等)
検 結	ることがほ	※ 予算監視・効率化チームの所見を 本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	えるため評価のガイドライン等を作成するものであり、優々 既算要求における反映状況等)
検 結	ることがほ	※ 予算監視・効率化チームの所見を 本事業は、革新的医薬品等の早期実用化に伴い安全対策の推進に資す 変の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。 上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	でである。 である であり、優好 であため評価のガイドライン等を作成するものであり、優好 ではない でいましま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でいま でい

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する) (単 位:百万円)	
取り先が何を	
11つ (いるか     について補足	
する)(単	
位:百万円)	

		Α.			D.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
費目・使途	計		0.000	計		0.0
(「資金の流れ」		В.			E.	
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されて記載する。 で記載する。 で実情が分かる ように記載)	費 目	使 途	金 額 (百万円)		使 途	金額(百万円)
			(日ハロ)			(日カロ)
て記載する。費目と使途の双方						
で実情が分かる ように記載)						
	 計		0.00	 計		0.0
		C.			F.	
		使 途	金額(百万円)		使 途	金額(百万円)
		<u> </u>	(日万円)			(日万円)
	 計		0	 計		0.0
	ПΙ		U	п		0.0

## 支出先上位10者リスト A.\_\_\_\_\_

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

В

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

				平成2	4年行政	事業	レビューシ	(厚	(厚生労働省)		省)		
事	業名	がん・生活習慣	病等医薬品副作用作	f報長期収集・評価事	業 担当部	8局庁	医	薬食品局		作月	<b>贞責</b> 日	E者	
	開始 • 予定)年度		平成25年	度	担当	課室	安	全対策課	課	長(	表木	登美子	
会記	計区分		一般会計	<del> </del>	施策	名	IV − 1 − 8	医薬品等の品質	質確保、妄	全対策	策を徿	放底する	
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)		-		関係する 通知		「ライフ成長戦略 医療イノベーショ	平成24年7月31    ン5か年戦略(平 の迅速化・質の向	成24年6月	6日策			
(目排簡潔に	( <b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)		貫病等の患者にお することを目指す		è性評価を国 <i>が</i>	多角的	に実施し、早期に近	適切な安全対策を	実施すると	ともに、	がん等	学の医療	
(5行	<b>業概要</b> ī程度以 引添可)	る国立がん研	がん・生活習慣病等の患者を多数抱える大規模病院を擁し、政策医療の実現を目標としている国立病院機構及びがんの中心的医療機関であら国立がん研究センター病院等9病院の協力を得て、前向きコホート調査に対応したデータベースを構築するとともに、このデータベースを活用、医薬品の長期投与時の副作用発現頻度等を定量的に評価するための基盤を構築する。										
実加	施方法	■直接実施	□委託・	請負 ■袝	崩助 □	負担	口交付	口貸付 ——————	□その	他			
				21年度	22年度		23年度	24年	度	25年度要求 401			
		予	初予算										
予算	算額・	の #=	正予算 trt L 签										
執	<b>行額</b> ∶百万円)	状	越し等										
(+12	. 173117	執行額				_					401		
		執行率				_				_			
		+7(1) +				24 / J	04/7-#	00/5	20/51	*		標値	
成果目	目標及び		成果指標			単位	21年度	22年度	23年月	<b>支</b>		7年度)	
成身	果実績 7トカム)	デー	タベース導入済	医療機関数	成果実績	箇所	f –	-	-			9	
					達成度	%	-	-	-				
<b>≥</b> 7.€1.+	七4番 なっぐ		活動指標	Ę		単位	25年度	26年度	27年月	度	28年月	度活動見込	
活動	指標及び   助実績 トプット)	データマッピ	ングの実施及び	医療機関側各シ	活動実績ス		_	-	_			-	
	1.2.21.7	テムへの出た	<b>力機能追加医療</b>	機関数	(当初見込み)	│ 箇所 │	(6)	(9)	(9)		(	- )	
	z当たり コスト		30, 7	44千円/箇所	算出根拠	度療機関側データマッピング及び医療機関側各システムへの出力機能追加費(184,464千円)/データマッピングの実施及び医療機関側各システムへの出力機能追加医療機関数(6医療機関)							
T.		量 目	24年度当初予算	25年度要求				Eな増減理由					
平成。		<b>謝金</b>	0	0.4		本再生	生戦略にかかる特	別重点要求とし	て新規要認	求する	ため		
2 4		等旅費	0	1.2	_								
2		<b>查等業務</b> 庁費		0.4									
5 年	医薬品副作用等被	<b>支害救済事務費等補助金</b>	0	399	_								
年度予算内訳					_								
7/5		<u></u>	0	401	-								

	事業所管部局による点検												
	評価	項 目	評価に関する説明										
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医薬品の安全性の確保は、国民にとって必要且つ優先度が高い事業である。										
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	医薬品の安全対策は、統一的に行うべき事業であることから 国が実施すべき事業である。										
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_										
資	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	_										
金の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	_										
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_										
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_										
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	_										
<b>*=</b>	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	_										
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	_										
養	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_										
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_										
果実	_	※類似事業名とその所管部局・府省名	_										
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_										
予算監視・効率化チームの所見  予算監視・効率化チームの所見  本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度													
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発											
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発 の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、 <b>優</b> 先度										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、 <b>優</b> 先度										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発 の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、 <b>優</b> 先度										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発 の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、 <b>優</b> 先度										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発 の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、 <b>優</b> 先度										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発 の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										
		本事業は、医薬品等の品質確保のため医薬品の長期投与時の副作用発の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	現頻度等を評価する基盤構築をするものであり、優先度 算要求における反映状況等)										

<b>資金の流</b> のでである。 <b>資金の流</b> のののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 のののののののがいで、 のののののがいで、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの		

		A.			E.				
	# -	Т	金額	# -	T	金額			
	費目	使 途	(百万円)	費目	使 途	(百万円)			
弗日. 体冷	計		0.000	計		0.000			
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」		B.		F.					
においてブロッ クごとに最大の	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
金額が支出されている者につい									
ている者について記載する。費目と使途の双方									
目と使途の双方で実情が分かるように記載)	計		0.000	計		0.000			
0 7 T L L L L L L L L L L L L L L L L L L		C.		G.					
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)			
	計		0.000	計		0.000			
		D.		H.					
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)			
	計		0.000	計		0.000			

A.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				
B.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				
_ C.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				
D.				
支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1				

						平成2	4:	年行政	事業	レビ	<b>ニューシ</b>		· 不 田 ·			労働	省)
事	業名		再生医療	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	録シス	<u> </u>	•	担当部				薬食品	.局		_	<u>- ノ」 国</u> F成責(	
	開始 • 定)年度			平成2	5年度			担当記	果室		安	全対策	誤	Ī	果長	俵木	登美子
会記	计区分			一般:	会計			施策	名	IV -	- 1 - 8	医薬品	品等の品質	質確保、:	安全常	対策を	散底する
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)			_	-			関係する通知	等	「ライ 医療 「Ⅲ- 強化		り ロン5か <sup>な</sup> 再生医	手戦略(平) 療を迅速に	成24年6月 実用化さ	月6日 せるた	めの制	
(目排筒潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を こ。3行程 以内)					績を得ることが 確認することを			製品に	こついて	、長期にわた	さって患	者のフォロ	<b>ー</b> アップを	行う	ことによ	り、市販後
(5行	<b>業概要</b> f程度以 削添可)		今後開発が想定されるものも含めた各種再生医療製品について、検討に必要な海外情報の収集を行い、登録スキーム・登録システムのあり方 やその仕様の検討を行うこととする。														
実別	<b>拖方法</b>	■直接実施  □委託・請負  ■補助							負担		口交付		貸付	ロその	この他		
		_				21年度		22年度			23年度		24年月			25年度	
				切予算 5.3.第			_								_	36	3
予算	算額・	算の		E予算			_		_								
執	<b>行額</b> ∶百万円)	状況		返し等 <del>-</del>	_		_		_								
\ <del>-</del>   <u>-</u>	ти и			計			_			_						30	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			執行 ———				_										
		:	執行率		_					$\overline{}$							目標値
成里日	目標及び	成果指標							単位	Ī.	21年度	22	2年度	23年	度	(	年度)
成身	ョ <del>ほ</del> 及 い <b>果実績</b> ルカム)	各種再生医療製品に係る登録システム仕様の 策定を検討するための事業であるため、指標は						成果実績			-		-	-			-
()	(LNA)	策定 未設		「るための事	業で	あるため、指	標は	達成度	%		-		-	-			
				活動	指標				単位	Z.	21年度	22	2年度	23年	度	24年	度活動見込
活動	指標及び 助実績					システム仕様		活動実績		Т	-		-	-			-
	トプット)	未設		「るための事	業で	あるため、指	標は	(当初見込み)			_	(	- )	( -		) (	- )
	単位当たり					算出根拠					_						
_	費	目		24年度当初	予算	25年度要求	ξ				Ė	主な増減	<b></b>				
平 成 2	再生医療製品患			0		9.0 27.0		日	本再:	生戦略	にかかる特	別重点	悪要求とし	て新規要	求す	るため	
4	<b>丹生医療</b> 裂品(	ル女宝刈	東体制登備	U		27.0											
2																	
年度予算内訳																	
予質																	
内即																	
5/G		<b>=</b> ∔		0		26	$\dashv$										

事業所管部局による点検												
	評価	項 目	評価に関する説明									
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	再生医療製品の安全性の確保は、国民にとって必要且つ優先 度が高い事業である。									
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	医薬品の安全対策は、統一的に行うべき事業であることから 国が実施すべき事業である。									
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_									
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	_									
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	_									
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_									
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	_									
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	_									
泽	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	_									
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	_									
積	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_									
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_									
果実	_	※類似事業名とその所管部局・府省名	_									
績	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	_									
		予算監視・効率化チームの所見 ト事業は、再生医療製品の安全性向上のため、再生医療製品を使用する あり、優先度の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。										
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	は昇要来における反映状況等)									
		_										
			<b>免したっている担合けるの公田も司券</b> と									
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	<b>水⊂</b> はつ (いの場合はての結果も記載)									
1												
		関連する過去のレビューシートの事業	<b>美番号</b>									

<b>資金の流</b> のでである。 <b>資金の流</b> のののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 ののののがいて、 のののののののがいで、 のののののがいで、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの		

費目・使途     (百万円)     費目     使途       計     0.000     計       おこれにおいてブロックをごして見まった。     要目     使途       株式して見まった。     金額     要目     使途	金額(百万円)					
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ     B.     F.	0.000					
費目・使途     (「資金の流れ」       においてブロッ     A 類	0.000					
費目・使途     (「資金の流れ」     B.     F.       においてブロッ     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
費目・使途     (「資金の流れ」     B.     F.       においてブロッ     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
費目・使途     (「資金の流れ」     B.     F.       においてブロッ     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
(「資金の流れ」       B.       F.         においてブロッ						
┃ においてフロツ┃  #	<u> </u>					
カデレに是十の   貸 日	金額(百万円)					
金額が支出されている者について記載する。費	(1)311/					
て記載する。費						
日と使述の双方						
で実情が分かる 計 0.000 計 United State	0.000					
C. G.						
費 目 使 途 金 額 費 目 使 途	金額(百万円)					
計 0.000 計	0.000					
D. H.	H.					
費 目 使 途	金額(百万円)					
(百万円) 貸日 (2000年) (2000年)						
計 0.000 計	0.000					

A.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
В.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
C.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
D.					
	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

	平成24年行政事業レビューシート 「厚生労働省)														
事	業名		カネミ油	記患者の健	康実態	<b>悲調査事業費</b>		担当部			品安全部			<b>或責任者</b>	
事業終了(予	開始 • P定)年度			平成25	年度			担当記	果室	企	画情報課		伊	原 和人	
会記	計区分			一般:	会計			施策	名	IV-	4-1 食品等の	安全性を	確保す	- る	
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)	カネ		者に関する。 る法律第8条		の総合的な推 項、第10条	進に	関係する通知			-	_			
(目技	: <b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)	康実第 状況	態調査の	実施・健康調	查支持	援金の支給を行	うこと	とにより、油	症治療	特殊性を考慮し、油 研究班が実施してい 研究の充実・強化を	<b>いる検診結果と併</b>	せて患者の	症状σ	)推移、治療の	
(5行	<b>業概要</b> 5程度以 引添可)	可)													
実加	<b>施方法</b>	■直	接実施	■委	託・請	<b>負</b> □	補助		負担	口交付	□貸付 	口貸付 口その他			
						21年度		22年度		23年度	24年	度	25年度要求		
		予		切予算									426		
予算	算額•	算の		E予算 ····································											
	<b>行額</b> :百万円)	状況		返し等 <del></del>			_							100	
				計			_							426	
			執行 <del></del>				_								
		:	執行率		lla læ									目標値	
	目標及び			成果!	指標 				単位	<del>                                     </del>	22年度	23年	度	(24年度)	
	果実績 <b>フトカム</b> )	調査†	<sup>劦力者数</sup>					成果実績	検体					_	
								達成度	%					_	
二手4+	七4番 なっぐ			活動	指標				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度活動見込	
活動	指標及び 助実績 トプット)	調査乳	実施都道	府県数				活動実績(当初見込	都道府	— 県	-	_		_	
								み)		_	_	_		( - )	
	な当たり コスト			212,912	(円/,	٨)		算出根拠	平成25	5年度概算要求額(4	425,824千円)/200	0人(調査対	対象見	<b>込</b> み)	
777	費	1 目		24年度当初	予算	25年度要求				É	とな増減理由				
平成。		員旅費		_		0.2									
2 4	<b>保健福祉調査</b> 均			_		402.3				平成2	25年度新規要求	ţ			
2	保健福祉	Ŀ調査	委託費	_		23.3									
5 年															
度予															
算内															
訳		計		0		425.8	$\dashv$								

		事業所管部局による点検						
	評価	項目	評価に関する説明					
目的・	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	第180回通常国会にて成立した「カネミ油症患者に関する施策の総合的な推進に関する法律」において、カネミ油症患者の健康状態の把握等が求められている。					
予算の状況	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	健康状態の把握等は国が行うこととされており(法第10条)、その実施については、自治体の協力を得て行う。					
	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_					
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。						
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。						
使流流	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_					
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。						
H	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。						
<b>=</b>	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。						
活動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。						
実績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。						
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_					
果実績	_	※類似事業名とその所管部局・府省名						
積	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。						
点 検 結果 	患者の乳	<b>実態把握をし、カネミ油症患者の施策を総合的に推進していくためには必要</b>						
		予算監視・効率化チームの所見						
		本事業は、カネミ油症患者に対する支援策の一環として健康実態調査を 研究の充実強化を図るものであり、国民のニーズが高く、優先度の高い事	事業である。					
	·	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)					
	-	_						
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	象となっている場合はその結果も記載)					
1			4					
		関連する過去のレビューシートの事業						

事業番号

新25-0024

						平成 2	2 4	4年行政事業レビューシート (厚生労働省)					省)		
事	業名		秀	<b>薬物療法提供</b>	体制強			担当部			薬食品局		作	成責任	E者
	き開始・ 予定)年度			平成2	5年度	:		担当記	果室		総務課		課長	宮本	真司
会	計区分			一般	会計			施策	名	IV-	-1-9 医薬品の	適正使用を	を推進	する	
(具	<b>処法令</b> 体的な iも記載)			-	-			関係する 通知		日本再生戦略(写	平成24年7月31日 」	閣議決定)			
(目持額)	を <b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)	抗り受ける	がん剤や! られるよう る正しい <sup>理</sup>	麻薬など、使 、薬の専門3 里解を促進・・	い方 <i>が</i> 家であ 普及し	が難しい薬を用 る薬剤師がチ- 、適正使用を図	いただ - ム医    るなる	台療や薬の食 5療の一員と ど、地域での	飲み残し して、討 )適切な	,を減らすための適 5問や相談、情報提 薬物療法を推進す	切な服薬指導など 供をスムーズにそ る。	ごについて、 テうための(	誰もが 本制を <sup>惠</sup>	安心しを備して	て在宅で つつ、薬に
(5行	<b>業概要</b> 行程度以 引添可)	表施主体である市町村等が地域の美情に応じて選択できるような形で複数メニューを国が提供し、モデル的な事業美施を通じて、地域任民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図る。													
実加	施方法	口直	接実施	■委	託·請	負 □	補助		負担	口交付	口貸付	□その	他		
						21年度		22年度		23年度	24年	度	2	5年度	要求
			予 当初予算										200		
<b>予算額・</b> <b>執行額</b> (単位:百万円)		算の		E予算	_										
		状況		返し等	_		_								
(単位	· 日万円)	776		計	_									200	)
		執行額			_										
		***	執行率	(%)											
成里	目標及び			成果	指標				単位	21年度	22年度	23年	度		目標値 年度)
成	里宝结	薬に用を	関する正 図るなど	しい理解を 薬物療法 <i>0</i>	·促進 )推進	・普及し、適正 を図ろうとする	を使る事	成果実績		-	-	-			-
(),	/F/JA/					の設定は困難		達成度	%	-	-	-			
活動	指標及び			活動	指標				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度	度活動見込
活動	助実績ルプット)			補助事	業件数	数		活動実績(当初見込	施設	-	-	-			-
								み)		_	_	_		(	- )
	対当たり コスト		(	6. 25(百기	5/箇月	听数)		算出根拠			200百万 ÷ 業の補助金額- 平成25年度活	:補助箇別	<b>斤数</b>		
		1 目		24年度当初	]予算	25年度要求	ζ				Eな増減理由				
-成24・25年度予算	衛生関係指導	<b>望者養成</b>	等委託費	_		200		Ē	]本再 <u>《</u>	<b>主戦略にかかる</b> 特	<b>F別重点要求と</b> し	て新規要	求する	<i>t</i> :め ¯	
内訳		<u></u> =↓		0		200									
		計		0		200									

п		事業所管部局による点検					
В	評価	項目	評価に関する説明				
的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域住民に対する適切な薬物療法の推進・普及を図ることを目的とした事業であり、国民にニーズのある事業であるといえる。				
予算の状	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	地域の実情に応じて選択できるような形で複数メニューを 国が提供し、地域住民に対する適切な薬物療法の推進・ 普及を図ろうとする事業であり、国の実施すべき事業だと いえる。				
況	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-				
資	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-				
金の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-				
使命、	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
目・	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	_				
活	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-				
動	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	-				
実績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	-				
成果実績	_	※類似事業名とその所管部局・府省名	-				
積	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
		マ体配相 林安ルイ ノのご					
本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であるため、適切な予算措置とすること。							
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医	<b>医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医 るため、適切な予算措置とすること。	<b>医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医 るため、適切な予算措置とすること。	<b>医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医 るため、適切な予算措置とすること。	<b>医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医 るため、適切な予算措置とすること。	医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 既算要求における反映状況等)				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 既算要求における反映状況等)				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 既算要求における反映状況等)				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	<b>※療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 無算要求における反映状況等)</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	<b>※療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 無算要求における反映状況等)</b>				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 既算要求における反映状況等)				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	医療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 既算要求における反映状況等)				
		本事業は、在宅医療の推進のため薬局・薬剤師を有効活用してチーム医るため、適切な予算措置とすること。  上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(本	要療体制を構築等するものであり、優先度の高い事業であ 概算要求における反映状況等) 対象となっている場合はその結果も記載)				

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り元が同で 行っているか	
(資金の (資金の 明り 明り 明り について でる で で で で で で で で で で で で で	
する)(単	
位:日万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
			(17313)			(17313)
	計		0	計		0
		В.	A +T		F	A +T
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
<b>費目・使途</b>						
においてブロッ						
クことに最大の 金額が支出さ						
れている者について記載する。						
費目と使途の 双方で実情が						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大されている額がる者になる者になる者にいて記載する。 費目と使実情が、分かるように記載)						
	計 		0	計		0
		C.	金額	# 0	G.	金額
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	 計		0	 計		0
		D.	l .		H.	
	費 目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)
			(ロノ) 1)			( <b>ロ</b> /J11)

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 (百万円)
 入札者数 落札率

 2
 (百万円)
 人札者数 落札率

 3
 (日万円)
 人札者数 落札率

 4
 (日万円)
 人札者数 落札率

 5
 (日万円)
 人札者数 落札率

 6
 (日万円)
 人札者数 落札率

 7
 (日万円)
 人札者数 落札率

 8
 (日万円)
 人札者数 落札率

 9
 (日万円)
 人札者数 落札率

 10
 (日万円)
 人札者数 落札率

 2
 (日万円)
 人札者数 落札率

 3
 (日万円)
 人札者数 落札率

 4
 (日万円)
 人札者数 落札率

 5
 (日万円)
 人札者数 落札率

 6
 (日万円)
 人札者数 落札率

 7
 (日本)
 (日本)

 8
 (日本)
 (日本)

 9
 (日本)
 (日本)

 10
 (日本)
 (日本)

 10
 (日本)
 (日本)

 11
 (日本)
 (日本)

 12
 (日本)
 (日本)

 13
 (日本)
 (日本)

 14
 (日本)
 (日本)

 15
 (日本)
 (日本)

 16
 (日本)
 (日本)

 17
 (日本)
 (日本)

 18
 (日本)
 (日本)

 19
 (日

事業番号

新25-0025

						平成 2	1	年行政	丰業	レビュー	_ < /-	<u> </u>		工生	労働	少)	
事	業名			災害拠点薬	局整備			担当部				<b>_</b> 薬食品局	(A		<u>ク 国</u> 成責任		
事業	開始 -			平成2				担当記				<del></del>		<del></del> 課長		· <del>L</del>	
	定)年度															———	
	<b>计区分</b>		果 5	日本大震災 ————	<b>後</b> 興和	守別会計 ————		施策	· <b>石</b>	***		-9 医薬品の通			<del>り</del> る		
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)			-	-			関係する 通知		(平成23	年7月	からの復興の   29日東日本 箇所: P26(4)⑤	大震災復		策本 <del>部</del>	邪)	
(目排 簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を こ。3行程 以内)	医薬分業が進展している中で、災害時の医療機能の活動を支援するための拠点が必要となっている。 に対する整備を行い、災害発生初期の医療体制の研						そのため、災									
(5行	<b>≹概要</b> f程度以 训添可)	災害時に医薬品等の供給、支援薬剤師受入れの拠点となる災害拠点薬局に対する設備整備															
実別	<b>拖方法</b>	口直	接実施	□委	託·請	負  ■	補則	<b>b</b> □:	負担	口交付	t	口貸付	□その	他			
						21年度		22年度		23年月	支	24年	度	2	5年度	要求	
		予		刀予算	_		_								500	)	
- 子信	算額・	算の		E予算			_										1
執	行額	状		返し等	/												
(単位	:百万円)	況		計										500			
			執行	額	Į.												
		執行率(%)															
	- !	成果指標						単位	21年度	Ę	22年度	23年	度		標値 年度)		
成身		災害発生初期の医療体制の確保を図るため、 被災地での薬剤師の活動を拠点を整備する事 業であり、定量的な指標の設定は困難。					成果実績		-		_	-			_		
	,,,,,,						ວ∌	達成度	%	-		-	1				_
	h le e e e			活動	指標				単位	21年度	Ę	22年度	23年	度	24年度	度活動見辺	<u>አ</u>
活動	旨標及び   効実績 トプット)			補助事	<del>坐</del>	<del>tk</del> a		活動実績	施設	_		-	_			-	
				III PJ T	<b>ж</b> нт 9	×		(当初見込み)	ne ox	_	ļ	- ;	_		(	- )	)
	ご当たり Iスト			5(百万/	箇所都	数)		算出根拠			本事為	00百万 ÷ 1 業の補助金額÷ <sup>ヹ</sup> 成25年度活動	補助箇所	数			
_		目		24年度当初	]予算	25年度要求	रे					な増減理由					
平成24・25年度予算内訳	薬局設備3	登備3	資補助金	_		500						新規要求					
訳		計 0				500	$\dashv$										

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	評価に関する説明
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	災害発生初期の医療体制の確保を図ることを目的とした 事業であり、優先度の高い事業であるといえる。
状・ 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	災害拠点薬局に対する設備整備を補助する事業であ り、国の実施すべき事業であるといえる。
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	-
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	-
立の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	-
一の流れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
費	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-
目・	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-
汗	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	-
活動実績	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	_
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	_
	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_
成果実績	-	※類似事業名とその所管部局・府省名	-
稹	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-
点検結果		大震災においては、支援にきた多くの薬剤師の受入・派遣調整、支援医薬品 也の医療関係団体との連絡体制において、改善すべき点が指摘されており	
		本事業は、災害時に薬剤師等の支援活動の拠点となる薬局を整備するも すること。	のであり、優先度の高い事業であり、適切な予算措置と
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)
		_	
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	となっている場合はその結果も記載)
		関連する過去のレビューシートの事業	连番号

	※平成23年度実績を記入
<b>盗</b> 合の法も	
貝並の流れ   (資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する)(単 位:百万円)	
について補足	
90/(甲)	
立. 日2717	

		A.			E.			
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
						_		
	計	5	0	計	F	0		
	弗 口	B.	金額	弗 口	F. 体	金額		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
費目・使途 (「資金の流れ」 においてしまいで、 クごとに支出される。 金額が者について記載さの双かれて記載途の分かる ように記載)								
においてブロッ								
金額が支出され								
ている者について記載する。費								
目と使途の双方で実情が分かる								
ように記載)	計		0	計		0		
		C.		G.				
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(1731 17			(117311)		
	計		0	計		0		
	# 0	D.	金 額		H.	金 額		
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
	計		0	計		0		
	н		Ŭ	н		<u> </u>		

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 B.
 支出額 (百万円)
 入札者数 落札率

 1
 (百万円)
 人札者数 落札率

 2
 (百万円)
 人札者数 落札率

 3
 (日万円)
 人札者数 落札率

 4
 (日万円)
 人札者数 落札率

 5
 (日万円)
 人札者数 落札率

 6
 (日万円)
 人札者数 落札率

 7
 (日万円)
 人札者数 落札率

 8
 (日万円)
 (日本)

 9
 (日本)
 (日本)

 10
 (日本)
 (日本)

						平成2	4 4	年行政	事業	レビューシ	<u>-                                    </u>	<u></u>	生	労働~	<b>旨</b> )
事	業名		災	害時血液製剤	供給確		•	担当部			<b>-</b> 薬食品局	\\ .		<b>戏責任</b>	_
	開始・			平成 2	5 年度	Ę		担当詞	果室	ф	液対策課		課長	三宅	智
会言	<b>十区</b> 分		東日	日本大震災	复興特	<b>持別会計</b>		施策	名		I -7-1 者の確保を図り 推進し、安全性				合、使
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)			_				関係する 通知		の基本的な7 (平成20年6) 東日本大震	血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針 (平成20年6月6日厚生労働省告示第326号) 東日本大震災からの復興の基本方針 (平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部)				
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 指す姿を こ。3行程 以内)	災害時においても、国の責務である血液製剤の安定供給の確保を行える体制整備を実施する。													
(5行	<b>養概要</b> f程度以 训添可)	ことか 液製3	ら、停電	時には血液の 拠点となる重	り検査・	•製剤化施設な	が使用	できず、災害	害時の	用施設への電力がる 血液製剤の安定供 食査・製剤化施設へ	給に支障が生じる	ため、震災	等の災	害発生	時に血
実施	<b>拖方法</b>	口直	接実施	口委	託∙請	負   ■	補助		負担	口交付	口貸付	□その	他		
					2	21年度		22年度		23年度	24年	度	2	5年度要	求
予算		予		切予算									486		
	額・	算の		E予算 滅し等					_						
	<b>行額</b> ∶百万円)	状況		<sup>返し寺</sup> 計									486		
		執行額			_				_				700		
		執行率 (%)													
			ŦX1 J <del>4*</del>						*** (-)	1=	2077	205			票値
成果目	目標及び			成果!	<b></b> 信標				単位	21年度	22年度	23年	<b></b>		丰度)
成男	ままります。 大力ム)	停電時でも血液の検査、製剤化及び保管が						成果実績	箇所	f	_	_		,	4
	(17)		行えるブロック血液センターの数					達成度	%	_	_	_			
				活動	指標				単位	21年度	22年度	23年	度	24年度	舌動見込
	旨標及び 助実績							活動実績			_			_	_
	トプット)			夜センターを すする補助の		とした非常用	電源	(当初見込	箇所	ř					
								み)			( — )	( —	)	( -	_ )
		ブロ	ロック血氵	夜センターを	対象。	とした非常用	電源		(A)	486百万円 ÷ (E	3)3箇所 = 16	2百万円			
	当たり スト	の	整備に対	付する補助に	かかん	るコスト		算出根拠		= 血液製剤安定					
				1	62(百	<b>万円/</b> 箇所	)		В	= 補助対象となる (平成25年度 <i>0</i>	)プロック皿液セン )活動見込み)	ンターの匿	]		
		1 目		24年度当初	予算	25年度要求	ξ			Ė	な増減理由				
平成	血液製 施設整			0		486	災	(害時血液	製剤は		算の新規要求に	よる増			
2	心改金1	用貝套	用功亚												
2															
5 年															
年度予算内					-		$\dashv$								
内和							$\dashv$								
訳		<u></u> 計		n		486	$\dashv$								

		事業所管部局による点検	
	評価	項目	評価に関する説明
目的	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	災害時の血液製剤の安定供給の確保は、国民の生命を 守るために必要であり、優先度の高い事業である。
状· 況予	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	血液法の国の責務に基づき実施する事業である。
算の	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	_
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
の	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
使れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。	_
費	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
目 •	_	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
洋	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
活動	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
動実績	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
成	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	_
成果実績	_	※類似事業名とその所管部局・府省名 —	
積	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		必要不可欠な血液製剤を災害時においても安定して供給することは、国民 血液製剤の安定供給の確保を行うためにも重要であることから、本事業の	
		本事業は、災害時に血液製剤の安定供給を図るため、拠点となる血液セ であるため、適切な予算措置とすること。	ンターの体制整備を行うものであり、優先度の高い事業
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概	算要求における反映状況等)
		<del>-</del>	
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象	<b>泉となっている場合はその結果も記載</b> )
		関連する過去のレビューシートの事業       事業レビュー     平成23年行政事	** *

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り先が何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っていて補足 する)(単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	

		A.			E.	
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	計 ————————————————————————————————————		0	計		0
		В.	<b>全</b> 宛		F.	<b>全</b> 宛
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
費目・使途						
(「資金の流れ」 においてブロッ						
クごとに最大の 金額が支出され						
ている者について記載する。費						
費目・使途 (「資金の流れ」 においてしまいで、 のでででででででででででででででででででででででででででできませた。 ででででででできないでででできます。 でででできないででできます。 ででできないでできます。 できないでできないできます。 できないでできないできます。 は、これでは、 できないできないできます。 は、これでは、 できないできないできます。 は、これでは、 できないでできないでできないできます。 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は						
ように記載)	 計		0	計		0
	п	C.		п	G.	
			金額(百万円)	費 目		金額(百万円)
			(自万円)			(自力円)
	計		0	計		0
		D.	A +=		H.	A 4-
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額(百万円)
	=1		_	=1		
	計		0	計		0

9

10

A.	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

 支出先
 業務概要

 1

 2

 3

 4

 5

 6

 7

 8

事業番号

新25-0029

						平成2	4 4	年行政	事業	レビューシ			厚生	労働省	î)
事	業名		イノベーシ 策事業費	√ョンを支える[	医薬品	品製造の国際品	質確	担当部	局庁		医薬食品局		作	成責任者	ť
事業 終了(予	開始 • 定)年度			平成25	年度			担当認	果室	監視指	i導•麻薬対策	策課	課長	中井川	誠
会記	†区分	一般会計				施策	名	IV - 1 - 8	医薬品等の	の品質確保、	安全対	策を徹慮	まする		
(具	<b>処法令</b> 体的な も記載)	・薬事法第14条第2項第4号 ・医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質 管理の基準に関する省令					関係する 通知		「ライフ成長戦 医療イノベー 「Ⅲ—1—5	日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定) 「ライフ成長戦略」 医療イノベーション5か年戦略(平成24年6月6日策策 「Ⅲ—1—5 審査の迅速化・質の向上・安全対策の強 「Ⅲ—1—7 諸外国と連携・グローバル市場の拡大」				<b>:</b> 1	
(目指簡潔に	<b>の目的</b> 旨す姿を こ。3行程 以内)	·医薬 ·海州 の整	ミ品製造ヨ トで製造さ 備。	見場における品	質確 品質	保体制をチェッ や信頼性を確信	クす 保する	る査察官の るための収ま	国際的 5試験(	る当該地で製造はトレーニング機のは、偽造医薬品等のの整備。	会を設ける。				)体制
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		• GMF	P査察官0	、医薬品医療機 )国際的なトレ- を機関の体制整	ーニン			;							
実施	拖方法	■直	接実施	口委託	:•請:	負 <b>■</b>	補助		負担	口交付	口貸付	ロその	の他		
					2	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度要	求
		予算		刃予算 E予算					_				+	311	
	<b>算額・</b> 行額	<i>σ</i>		返し等											
	1 <b>6</b> 段 : 百万円)			計										311	
		執行額		額	_										
		執行率(%)													
				成果指	標				単位	21年度	22年月	夏 23年	F度	目標 (24年	
成男	目標及び <b>果実績</b> (トカム)	本事業は、医薬品の品質確保対策の質の向上 を図ることを目的としており、成果について定量 的に示すことはできない。					—— ]上 ==	成果実績	-	-	-	-		_	
	,,,,,,						達成度	%	-	-	-	-			
		活動指標							単位	21年度	22年度	夏 23年	F度	24年度活	動見込
活動	<b>旨標及び</b> 助実績 トプット)	PIC/S関係会議へ			隻 <i>への</i>	の参加		活動実績	回	-	-	-		-	
								み)		( - )	( - )	( -	- )	( -	)
単位当たり コスト			字出根拠 - 第出根拠		-										
		目		24年度当初予	算	25年度要求	主な増減理由								
平成		謝金			0		.4	_	<u> </u>			<u> </u>			
2		員旅費			0		.5	H	本冉5	主戦略にかかる	<b>時別</b> 重点要認	<b>下として新規</b> 身	と来する	うため	
2	安貝  医薬品審	等旅			0	18	.3								
5年度予算内訳	医薬品副	作用	等被害		0	11									
<b>受</b> 予	救済事務	費等	補助金		J	11									
内訳		dž			0	31									

		事業所管部局による点検										
	評価	項目	評価に関する説明									
目 的 ·	0	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	医薬品の品質の確保は国民の安全に直結する優先度 の高い事業である。									
予算の状	0	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業 となっていないか。	医薬品の品質の確保は国民の安全に直結するため、国 が実施するべき事業である。									
状況	_	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。										
資金	_	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。										
の流	_	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。										
途れ、	_	受益者との負担関係は妥当であるか。										
費目	_	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。										
-	_	  費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。										
使		ALL KEN THE PROPERTY OF THE PR										
活動	_	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。										
動実	_	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。										
績、	_	活動実績は見込みに見合ったものであるか。										
成果実績	_	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。										
美 績		※類似事業名とその所管部局・府省名										
	_	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。										
点検結果		ベーション5か年戦略において、医薬品等の審査の迅速化・質の向上・5 ものである。	安全対策の強化を図ることとされており、本事業は当該戦略									
	本事業は、医薬品等の品質確保のため製造管理の実地調査を拡充・強化するものであり、優先度の高い事業であるため、適切な 予算措置とすること。											
		上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(	概算要求における反映状況等)									
		_										
		補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の)	対象となっている場合はその結果も記載)									
		関連する過去のレビューシートの事	事業番号									
平成2	2年行政	事業レビュー - 平成23年行	牧事業レビュー -									

	※平成23年度実績を記入
資金の流れ	
(資金の受け	
取り先か何を	
資金の流れ (資金の受け 取り先が何を 行っているか について補足 する)(単 位:百万円)	
する)(単	
位:百万円)	

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ		A.		В.				
においてブロックごとに最大の	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)		
全額が支出され								
ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる								
で実情が分かる								
ように記載)								
	計		0	計		0		

	支 出 先	業務概要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					